

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 321 号	氏名	中村 沙織
学位審査委員	主査	中島 憲一郎	
	副査	黒田 直敬	
	副査	西田 孝洋	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、冠血管疾患のリスクファクターと考えられている、生体チオール化合物、ホモシステインの血中濃度を精査し、同じく生体チオールでリスクファクターとしての可能性があるシステインおよびシステイン生成に関連するシステアミンの血中濃度との相関を明らかにするとともに、ホモシステイン血中レベルに密接にかかわる葉酸類の定量法を開発し、その関係を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>簡便で高感度なホモシステイン、システインおよびシステアミンの HPLC-FL 法を開発し、健常人の血中濃度測定に適用した。さらに葉酸類の LC-MS 定量法を開発し、FA、THF、および 5-MTHF の同時定量を可能にするとともに、健常人の血液分析に適用したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で健常人血液試料を定量した結果、各チオール濃度は既報値とよく一致した。また、ホモシステインとシステインには弱い正の相関 ($r=0.27, n=550$) があり、ホモシステイン高値群ではシステインが有意に高値を示したが、システアミンとは相関がなかった。この結果、システインも動脈硬化のリスクファクターの候補と成りえることが示唆された。また、健常人 8 名の 5-MTHF 値を計測した結果、平均 24.8 ± 9.3 nM であり、基準域内にあることが分かった。これらの結果は冠血管疾患の研究に役立つものと期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は生体チオール化合物並びに葉酸類の冠血管疾患への関与に関する研究に寄与するものであり、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した</p>			